

## 2020年度 自己評価 結果及び対策・改善報告書

評価項目	評価結果 及び 対策	改善結果（進捗状況）
I、環境・体制整備	コロナ感染拡大防止対策として、3密を避けるよう活動場所等の分散を心掛けた。行事や活動内容の制限がある中で、一つでも多くの体験や経験が出来るよう創意工夫に努めた。	行事等は、規模の縮小・分散・時間短縮などの対策を行い実施した為、職員配置の充実、短時間で集中しての活動参加が出来るなど良い点も見られた。
II、業務改善	日々の振返りを継続して行い、支援内容に反映している。保護者向けアンケート結果を踏まえ、事業計画へ盛り込み改善へと繋げた。外部研修への参加はなかったが、施設内研修の共有を行った。	毎日の振返りを行うことで、子どもたちの変化にも早く気づき保護者とも共有することが出来た。少ない機会の中で、研修に参加し、職員間で共有することで改めて業務に取り組むことが出来ていた。
III、適切な支援の提供	新しいアセスメントシートの活用を通して、ニーズや課題を客観的に分析し、個別支援目標を作成することが出来た。また、いろいろな制限がある中で、活動プログラムを作成し、固定化しないよう工夫をした。	ニーズ、現状、課題、個別支援、集団支援の項目があることで保護者からもわかりやすいとのご意見を頂いた。行事を行った際は、開催してもらって良かった、との声が聞かれた。
IV、関係機関や保護者との連携	保護者了解の元、関係機関との会議等の場に参加した。日々の学校送迎の際には、学校での様子を伺い、はなえみでの過ごし方に反映するなどの対応をした。お迎えや送迎時にその日の様子を保護者へお伝えし、ご自宅での様子などを伺う等の連携を図った。	緊急事態宣言に伴う学校休校期間があり、5月下旬から順次学校が再開した。休校期間中のはなえみでの様子を学校と共有するなどの連携を継続している。支援のアドバイスを頂くなど、連携した支援を心掛けている。
V、保護者への説明責任等	契約時に契約書、重要事項説明書についてお伝えしている。定期的に配布しているおたよりでは、活動の様子がより伝わるようカラー写真を掲載するなどの対応をした。感染拡大防止の為、中止になった行事も多	今後も契約時に説明をさせて頂く。施設内への立入りや見学の制限がある中で、個人情報に配慮しながら活動の様子が伝わるよう工夫していく。

	く、保護者同士の連携の場や地域に開かれた事業運営は難しかった。	
VI、非常時等の対応	各マニュアルの保護者への周知は、アンケートにも「良くわからない」とのご意見を頂いており、未達成である。非常災害時の為の訓練月 1 回実施できている。事故発生時は、職員間で共有し、防止の為の対応と対策を考案している。	事業所説明会や契約時などマニュアルを周知できるよう機会を設けていく。毎月の訓練については、実際の災害発生時に活かせるよう職員の動きや配置、避難経路等の見直しを再度行っていく必要がある。事故報告の基準について、職員間での温度差がある為、再度共有し同様の事故発生ゼロを目指していく。

(まとめ)

新型コロナウイルス感染症拡大防止という今までにない状況の一年でしたが、子どもたちや保護者の方たちの安心安全を第一に心掛けて運営してまいりました。皆さまのご協力とご理解のもと、大きな混乱もなく過ごすことが出来感謝申し上げます。

今後も感染症対策等配慮しつつも、子どもたちがわくわくしながら一つでも多くの体験や経験が出来るよう活動させていただきます。